

## 2022 年度教育研究活動報告用紙（様式9）

氏名 アンデリユー・ジッツマン	職名 講師	学位 修士(言語学) (マクワォリ大学 2008年)
-----------------	-------	----------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
社会言語学	異文化コミュニケーション 社会的同一生 少年時教育

研究課題
アイデンティティの確立 大学進学

担当授業科目
英語コミュニケーション I, II ライティング基礎 パラグラフ・ライティング エリア・スタディ II グローバル英語 I 専門演習 I, II 卒業研究 欧米文化交流 A

授業を行う上で工夫した事項（※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項）
<p>授業科目名【英語コミュニケーション】</p> <p>このコースは、生徒の英語コミュニケーション能力を、より自然で、スクリプトのない形に向上させることを目的としています。この目的を達成するために、このコースでは様々な社会的コミュニケーションルールを提示し、重要な練習の機会を提供します。</p>
<p>授業科目名【ライティング基礎】</p> <p>何年も英語を書いているにもかかわらず、生徒たちが問題とする基本的な要素はたくさんあります。そこで、基礎的な部分を強化し、エッセイやリサーチレポートなどの大規模なライティング課題に備えられるように、地道なサポートを行いました。</p>
<p>授業科目名【パラグラフ・ライティング】</p> <p>アイデアをパラグラフ形式にまとめることは簡単なことのように思えますが、多くの生徒がこれをうまく行うことができませんでした。このコースでは、様々な種類のパラグラフに焦点を当て、その知識をエッセイライティングに移す方法を説明しました。パラグラフからエッセイへの移行は、多くの生徒が苦手とする問題であり、このコースはそれを修正することを目的としています。</p>
<p>授業科目名【エリア・スタディ II】</p> <p>隣国についての知識を持つことは、国際理解のための重要なステップです。このコースでは、ASEAN の国々に焦点を当て、彼らがお互いに、そして日本とどのような関係にあるのかを考察しました。</p>

授業科目名【欧米文化交流A】

このコースは、欧米文化を紹介し、対象国との交流の機会を提供することを目的としています。COVID-19の関係で、海外研修は実施できなかった。その代わりに市内で外国人と交流活動が実施した。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
全国語学教育学会	北九州支部報告担当 (2019年11月～現在に至る) 学会ビジネス・マネージャー(2006年11月～2010年11月) 学会企画担当理事(2004年7月～2006年11月)	1994～現在に至る

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)

(1) 共 同 研 究

研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 ( ) 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

--	--	--	--

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
学生委員（副委員長）2022年4月1日～2023年3月31日 FD部門委員 2022年4月1日～2023年3月31日 教育経費予算配分委員（委員長）2022年4月1日～2023年3月31日 英語学科カリキュラム構成委員（委員長）2022年2月21日～2023年3月31日 学科オリエンテーションイベントの企画検討を行う。 English Camp 企画担当を行う。 第四回 KANAME 杯委員。 ハロウィンイベントの企画検討を行う。 クリスマスインテンシブの企画検討を行う。 ZION Cup（スピーチコンテスト）の企画検討を行う。 第1と2回学科FDの司会者 地域活動、大学連携リレー講座「デジタル化の抱える課題と私たちの未来：言語学習のデジタル化」